

図書館だより

ほくと 97号

八王子北高等学校図書館

2026年 2月

今年度ラストの図書館だより【ほくと】です。

一年間、たくさん図書館を利用して頂き、ありがとうございました。

三年生の皆さん、図書館で皆さんと関わりを持たたくさんの時間を、忘れません。

それぞれの新年度に向けて、お身体に気を付けて！

また会う日まで ●○

芥川賞受賞作品



『時の家』 鳥山まこと

ある家に暮らしていた三世代の住人たちの存在と記憶、感情の物語。家という“モノ”の歴史ではなく、その中にいるいのちある物語。

三田文学新人賞でデビューした注目作家の新たな建築文学。

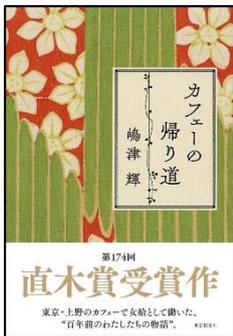


『叫び』 島山丑雄

現代の大阪を舞台に、心に傷を負った主人公早野は、「先生」と出会い、銅鐸と土地の歴史にのめり込み始める。

“恋愛政治小説”という新しいジャンルで、最後は予想外の展開に？

直木賞受賞作品



『カフェーの帰り道』 嶋津輝

大正から昭和にかけて、東京・上野の寂れたカフェーで働く女給たちの人生を描く連作短編集。

戦前、戦中、戦後という激動の時代を駆け抜け、一人一人の抱えるものは重たいものだけけれど、カフェーで働きながら生き抜いた強さと優しさに心奪われます。

お知らせ

雑誌差し上げます！！

期間 2/18～3/16

冊数 制限なし

場所 図書館前廊下

一年分の雑誌及び付録を展示します。

(2025年1月号～12月号)

早い者勝ち！ご自由にお持ちください。

卒業・進級前に必ず返却を！！

返却期限の過ぎた本は手元にありませんか？

督促通知が何度も届いているのに、

そのままにしているそこのあなた！

自分だけの図書館

自分だけの本 ではありません。

気持ちよく新年度を迎える為に、ご協力下さい。

無くしてしまった、という方は図書館司書まで

お声かけ下さい。



新着図書



『ずっとやりたかったことを、やりなさい。』

『アフター・ユー』 一穂ミチ著

ジュリア・キャロン著



誰にでもひとつやふたつ、なりたいたいものがあると思います。

でも、「できっこない」「夢みたい」とあきらめてしまいがちですが、本書は「ずっとやりたかったこと」をやっていく自分らしく生きるための具体的な方法論です。

欧米ではベストセラーでした。



After you!とは「お先にどうぞ」という意味です。

お互いに秘密を抱えて暮らしていた男女に突然の別れがきた。女性は見知らぬ男性と一緒に海難事故に遭い行方不明に。謎の多い事故の真実を求めていく過程にはサスペンス要素もあり、思いもよらぬ展開がまっています。

『大谷翔平の成信力』 西田一見著

『映画で知る韓国』 韓光勲著



実際に大谷翔平を指導したメンタルコーチングの第一人者によるアスリートの夢をかなえたメンタルトレーニング術が書かれています。

「誰もやったことがないことをやりたい」-この有名な大谷翔平の思考の原点を知りたいと思いませんか？



韓国を深く学びたい！もっと知りたい！と思っている皆さんにはぴったりの本です。

30本の映画評と22本のコラムを通して韓国をまるごと知り尽くすことができる本。

映画から韓国の歴史、社会の深堀も楽しくできるのではないのでしょうか。

『13歳からの哲学探究』 堀越耀介監修

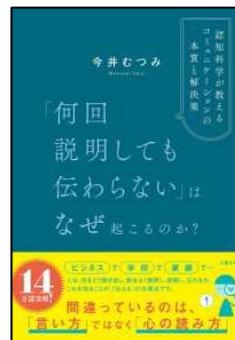
『「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか』

今井むつみ著



今の先の見えない時代を生きる私たちに必要なのは「わからないことを考える」哲学のチカラだそうです。

それは疑問に思うこと、なぜと問いを立て考えていくことで新しい自分の発見、あたらしい自分との出会いがあるそうですよ。



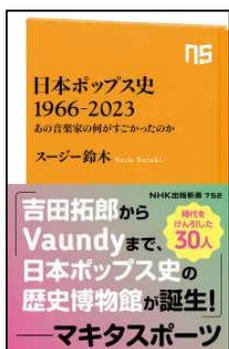
「うまく伝わらない」って経験した事ってありますよね。

人は、自分の都合がいいように、いかようにも誤解する生き物らしいです。

自分の考えを「伝えること」「分かり合うこと」を真面目に考え、実践したい人のための1冊になるのではないのでしょうか。

『日本ポップス史 1966-2023』 スージー鈴木著

『心のモヤモヤ外から見てみる』 いっちー著



ミセスもいいし、SnowManもいいけど、今、昭和ポップスが再燃しているのはご存じでしょうか？

日本ポップスの1966年~2023年までのポップス史

音楽好きの方にはまる一書になるのではと思います♪



「人間関係のモヤモヤ」「未来への不安」「自分に対するガッカリ感」等々、いろいろありますね。

そのしんどい思考ループからの脱出法が書かれています。

著者は1万件の悩みを解決した世界初のバーチャル精神科医の方です。